

「青少年活動を振り返って」

西区青少年指導員協議会 会長 菜花 好和



委嘱を受け40年が経過しました。記憶に残った活動をいくつか取り上げてみると、水谷修先生の『青少年の薬物問題を考える』講演研修会、習志野市から岸さん(秋津コミュニティ会長)をお迎えして学校と地域の結びつきを考えたシンポジウム、下見を重ねた異世代年齢交流会の海・山の探検隊、甲板磨きに汗した日本丸での海洋教室、又地域では薪や水の運搬に苦勞した飯盒炊飯(最近では三ツ沢野外活動センターでのランチハイキング)、小学校での『出前事業』万華鏡、そして区内の横串活動として始めた西区『紙ヒコーキ大会』など、さまざまな活動を展開してきました。

この活動のコンセプトは親子の対話、そして地域のつながりです。昨今はSNS、フェイスブック、ライン等電波によるものです。対話とつながりのもっとも大事なことは互いに顔を見合わせる事です。

青少年の健全育成には目で見てすぐに変化のわかるホームランの活動はありません。地道にヒットの活動を続け、新たな家庭の絆、地域のつながり作りが必要だと考えます。これからも是非皆さんのご協力をお願いいたします。

「青少年指導員の皆様へ」

西区長 吉泉 英紀



青少年指導員制度が50周年を迎えられることを心からお慶び申し上げます。また西区の青少年指導員協議会の皆様におかれましては、半世紀に亘り青少年の健全育成のため、地域活動に取り組まれていることに対して、深く感謝申し上げます。

皆様方におかれましては、夜間パトロールなどの活動による見守り活動に取り組まれているとともに、子ども会や町内会と連携し、地域の運動会やお祭り、子ども作品展等を開催されています。このような地道な活動こそが、ネットを通してではなく、青少年が人との交わりが実感でき、健やかに成長できる地域づくりにつながるものと確信しております。

また、スポーツ推進委員とともに、西区の恒例イベントである「西区ハマのウォーキングフェスティバル」の運営にも協力され、家族で楽しめる区民のための健康づくりにも貢献いただいております。

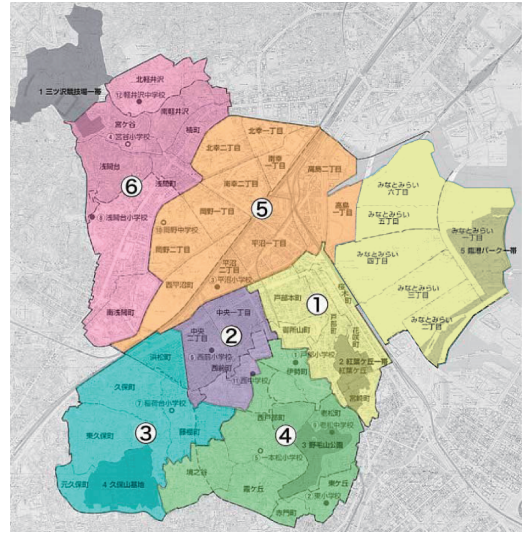
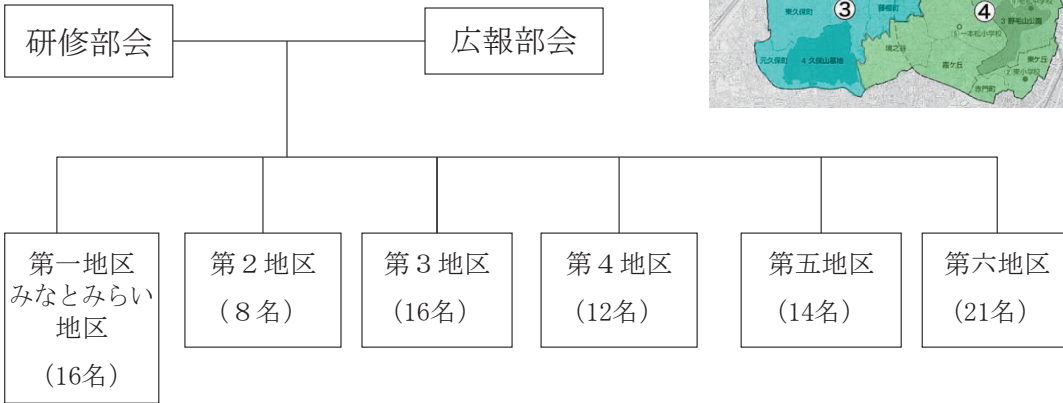
今後とも、青少年指導員の発展と皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。

西区青少年指導員協議会

西区の青少年指導員は6地区に分かれています



西区青少年指導員協議会



地区活動

●第一地区・みなとみらい地区 天体観測

平成26年3月に第1回を戸部小学校にて開催し、第4回となる本年は約50名が参加。天候が悪く町の明かりの影響で本当の星は観測できませんでしたが、プラネタリウムは好評でした。



●第二地区 親子ふれあい花火大会

毎年8月の夏休みに花火、ビンゴゲーム、食事会をかねて実施。平成28年は200人以上が参加。ビンゴ大会で盛り上がり、青指手作りの焼きそば、おにぎりで腹ごしらえ、最後は全員で打ち上げ花火でお開き！次回もたくさんの参加を願っています。

●第3地区 子ども作品展

毎年9月中旬に藤棚地区センターにて開催。各町内会から提出された作品は夏休みの楽しかった思い出が感じられ、絵画や工作での子ども達の想像力や表現力の豊かさに驚いています。



●第4地区大運動会

今回で56回を数える大運動会は、毎年10月に開催しています。第4地区の16の自治会、町内会が参加し、17の種目に挑戦し、いい汗を掻いて地区のつながり、交流を楽しんでいます。

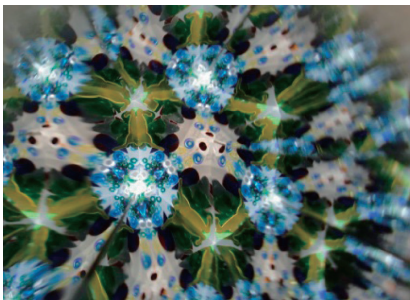
●第五地区 さわやかランドゴルフ

子ども達や初心者の方々にランドゴルフの楽しさを体験して貰う為、秋の岡野公園で実施。初めての体験でボールに当たらない、方向が違う等、戸惑っていたが楽しく体験でき、微笑ましかった。今後も活動を続けていきたい。



●第六地区 ペーパークラフト

ヒコーキ、風車、指人形、幅広い世代に対応。区民祭りやその他で実施、特に人気はヒコーキ、バルサ材から手作りし自分で作った満足感と笑顔はうれしいものです。もう一つは出前事業『万華鏡』宮谷、浅間台、平沼の各小学校で実施。筒の中の光の美しさを体験、今後も続けたい事業です。



西区青少年指導員協議会の行事紹介

●森と海の探検隊

平成13年～16年の4年間に渡り、子ども会と共催で異世代事業として実施。13年、14年は金沢自然の森へハイキングと木の名前、シダの葉などの観察をして、ドングリや草の葉を使った絵皿作りの「森の探検隊」。そして15、16年は、観音崎へ岬の台場跡や灯台見学を兼ねたハイキング。ここでのお土産は貝殻のペンダント、参加者は毎回100名を超え、自然に触れ勉強になり、また楽しかったと好評でした。この行事は平成16年の県青少年大会で事例報告として発表しました。



●紙ヒコーキ大会

平成24年から区内の交流を図ろうと始めました。1～6の各地区で小学低学年、高学年、中学一般の3部門に分けて予選会を実施。西スポーツセンターで3月に区決勝大会を行い、西区チャンピオンを決定。親子での参加が多く交流が図られました。



「スクラム」

中区青少年指導員協議会 会長 辺見 伸一



青少年指導員制度50周年を迎えるにあたり、これまで携わってこられました諸先輩方に於かれましては本当にお疲れ様でした。

私も20数年間色々な場面で青少年と接してきましたが、近年は社会環境の移り変わりとともに生活や行動等が著しく変化してきていると実感しています。

今後の青少年指導員としての活動に関しては諸機関との連携も含め様々な対応が求められてくるかと思われます。

さて、中区の青少年指導員の特徴はスポーツ推進委員の協力の下、区及び地区の行事・活動を盛り上げるため企画・運営等を実施し、より良い地域環境を作り出す為スクラムを組み努力をしております。

しかし、各地区で青少年指導員として活動して下さる方が減少し、負担が大きくなっているのが現状です。

その為地域の方々のご協力を得ながら、次世代を担う青少年が健やかに成長するよう活動を行っていきたいと思います。

「50周年を祝して」

中区長 竹前 大



この度、青少年指導員制度が50周年を迎えられましたこと心からお祝い申し上げます。

青少年をとりまく社会環境はこの半世紀の間、大きく変化しています。中区の地域特性としては、開港から市の中心となる都市形成が図られ、歴史的な建造物が多い中、繁華街として発展した地域も多くあります。また、外国籍・外国につながる区民が市内で一番多いのが特徴です。

中区の子供たちはこのような環境の変化を見ながらその時代の中で成長してきました。この間、子供たちを愛する熱意と情熱から、一貫して青少年の健全育成にご尽力をされ、合わせて地域社会の良好な環境づくりに多大な貢献をされている青少年指導員の皆さまにあらためて敬意を表します。

中区は、青少年指導員とスポーツ推進委員とが一体となって様々な地域の活動に取り組まれている、これが昔から続いている大きな特徴であります。

50周年を機に、今後とも地域の絆を柱として青少年指導員の皆さまのご活躍を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

配置図

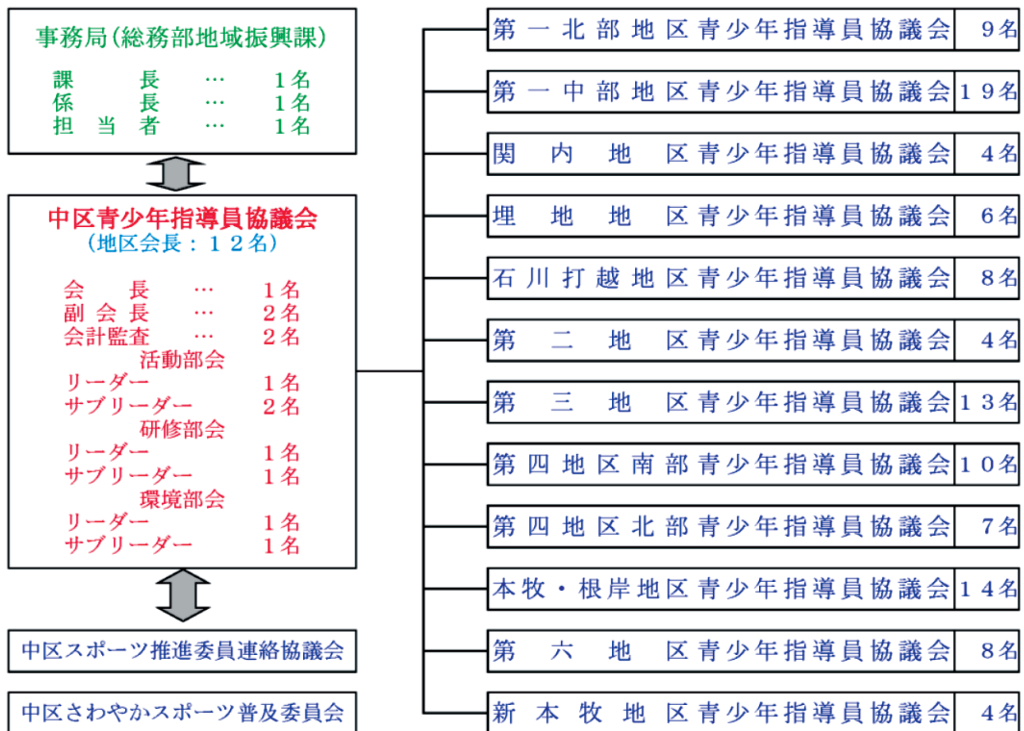


中区は左図のとおり12の地区で構成されています。

主なイベントとして中区文明開化ウォークラリー、山下会子どもフェスタ、ハローよこはま、なかっ子フェスティバルなどがあり、スポーツ推進委員と交流を深めるために合同で行っている行事もあります。

各地区の行事は小中学校やケアプラザの交流、運動会、バス旅行、餅つき大会、あるけ大会、筒かり、バーベキュー、各種スポーツ体験など千差万別で、その地域の環境や特色が現れています。

組織図(平成29年4月1日現在)



◆区活動紹介◆

ハローよこはま(中区民まつり)

毎年10月に開催され、約14万人が来場するイベントです。青少年指導員協議会のブースでは間伐材のキーホルダーづくりを企画、提供しています。参加した子どもたちが作ったキーホルダーは、世界に1つしかない記念品として喜ばれています。

また、全市統一行動キャンペーン活動では中区オリジナルの手作り飴を配布しています。



文明開化ウォークラリー

毎年5月下旬に開催され、約200名が参加するイベントです。スポーツ推進委員・さわやかスポーツ普及委員と共同で企画からコース選定、コマ図や課題の作成、試走まで、試行錯誤しながら作り上げています。参加者は3つのスタート地点から、コマ図をヒントに課題を解きながら、競い合ってゴールを目指します。なんと参加者には豪華な景品も・・・？



山下会「子どもフェスタ」

今年で第10回目になる山下会子どもフェスタに参加して7年目になります。幼児から小学生までを対象とし、山下公園でさまざまな体験や遊びを楽しみます。

私たちは環境創造局のみどりアップ推進事業の一環である間伐材を使って、昆虫のキーホルダーを子どもたちと一緒に作っています。



なかくっ子フェスティバル

子ども同士や地域の人々との交流を図ることを目的とした小中学生向けのイベントで、毎年2月頃に開催をしています。家の中で遊ぶことが日常となっている子供たちにベーゴマ、竹馬などの昔遊びやミニパラシュート、ペットボトルロケットなどの工作体験を楽しんでもらいます。会場は毎年区内の小学校を持ち回りで開催しています。

◆地区活動紹介◆

第1 北部地区

親子ハイキング&みかん狩りでは、京急長沢駅から三浦富士、武山山頂を經由し宮の里みかん畑へと歩き、100名以上がみかん狩りや餅つきを楽しみます。(江野)

第1 地区中部

38年前より地区社協と共催で視覚障害者団体とのふれあいボーリングを行っています。10年程前から地域中学生も参加し、視覚障害者と交流をしています。(大野)

関内地区

今年41回目を迎える関内もちつき大会や親子バーンゴルフ大会、街のまつりへの参加、ラジオ体操など顔の見える挨拶のできる関係づくりを目指して活動しています。(井上)

埋地地区

老若男女国籍問わず交流を深める「恒例あるけあるけ大会」は今年28回目を迎えました。活気ある行動と地域の輪をモットーに、地域住民の健全育成を目指します。(金原)

石川打越地区

石川小学校で子供達を対象にラダーゲッター・ナインゴール等さわやかスポーツの実施、授業の一環でコマまわし、羽子板など、昔遊びの指導をしています。(辺見)

第2 地区

青少年の枠を越え、老若男女が自共助の下、ハイキングやお祭り等の行事を通じ交流しています。先輩に学び後輩に教え、時には悩みを相談し、明るい環境・育成を目指しています。(植草)

第3 地区

一年を通して各種行事を行っています。筍狩りバス旅行、小中学校の金管バンドや吹奏楽部のコンサートを楽しんだり、ペタンク大会等も開催しています。(柴田)

第4 地区南部

毎年春に開催する「ふれあいウォーク」は、コマ図を見ながらゴールを目指し、ゴール会場ではお手製カレーを振る舞う、地域の方々や中学生との行事です。(近藤)

第4 地区北部

青少年指導員とスポーツ推進委員が中心となり、小港南公園で老若男女が多数参加する、軽スポーツを中心とした「ふれあい健康づくり」を開催しています。(渡辺)

本牧・根岸地区&新本牧地区

本牧・根岸と新本牧は2地区の青指・スポ推が合同で活動しています。学校支援活動として小学校スポーツフェスティバル会場の駐輪場整理や放課後キッズクラブの屋内ペタンク体験やペットボトルロケット飛ばし体験、地域支援活動として自治会町内会夏祭りや子ども七夕まつりに参加しています。子どもと大人、地域の交流を、呼びかけるだけでなく行動に移したいと思います。(野澤、中西)

第6 地区

毎年11月、山元小学校の校庭に動物園ができます。ポニーに乗ったりこぶた・ヤギなどにえさをあげたりモルモット・ひよこと一緒に遊んだり、大人子ども問わず楽しめる行事です。(粉川)